

2011年6月24日

HSBCプレミア、人民元預金利用者調査の結果を発表

新興国市場に強みを持つ世界有数の金融・銀行グループであるHSBCは、HSBCプレミアで人民元預金を利用されているお客様を対象として2011年5月中旬に実施したアンケート調査結果を、発表しました。

この調査は、HSBCプレミアが、2011年5月12日から8日間にわたって、インターネット上で、日本でHSBCプレミアの人民元預金口座をお持ちのお客様を対象に、どのような考えや期待を持って人民元預金を始め、どのようなスタンスで人民元預金という資産を保有しているのかを把握するために実施しました。

今回の調査から分かった主な点は以下の通りです。

1. 人民元預金を始めた理由として大半が挙げるのは、「為替差益への期待」と「中国経済への成長期待」。同時に「日本円の将来性に対する不安」も半数近くが挙げている。
2. 人民元高への見通しは非常にポジティブ。中長期的な上昇について「そう思う」または「ややそう思う」とする方は合計で96%。
3. 人民元預金の保有残高は平均すると全金融資産のうち15%。約5割が今後「残高を増やしたい」としている。
4. 人民元預金については、為替変動リスクよりも規制に対するリスクがより意識されている。リスクは認識しつつ、それを超える期待感から中長期（3年以上）を想定して運用。

HSBC調査レポートの詳細については、添付資料をご参照下さい。

次頁に続く

HSBCプレミア、人民元預金利用者調査の結果を発表/2

注記:

HSBCプレミア

HSBCグループの個人向け金融業務で、成長が著しいマス富裕層にグローバルな個人向けウェルスマネジメント・サービスを提供しています。2000年にサービスを開始し、2007年5月には、サービス内容などを一新したインターナショナル・サービスを開始しました。世界の46の国と地域で370以上のHSBCプレミアセンター（店舗）を設置し、サービスを提供しています。日本においては2008年1月に、お預り資産残高が1,000万円以上のお客様のための専門銀行として、クオリティーの高い個人向けウェルスマネジメント・サービスの提供を開始し、現在では首都圏や関西圏などにHSBCプレミア拠点を展開しています。

HSBCグループ

HSBCグループの持株会社であるHSBCホールディングス plcは英国に本部を置いています。HSBCグループは、ヨーロッパ、アジア太平洋地域、アメリカ大陸、中東、アフリカにまたがる87の国と地域に7,500を超える拠点を擁し、2010年12月末現在2兆4,550億米ドルの総資産を持つ世界有数の金融グループです。

以上

HSBCプレミア人民元預金利用者意識調査

2011年6月24日

調査実施概要

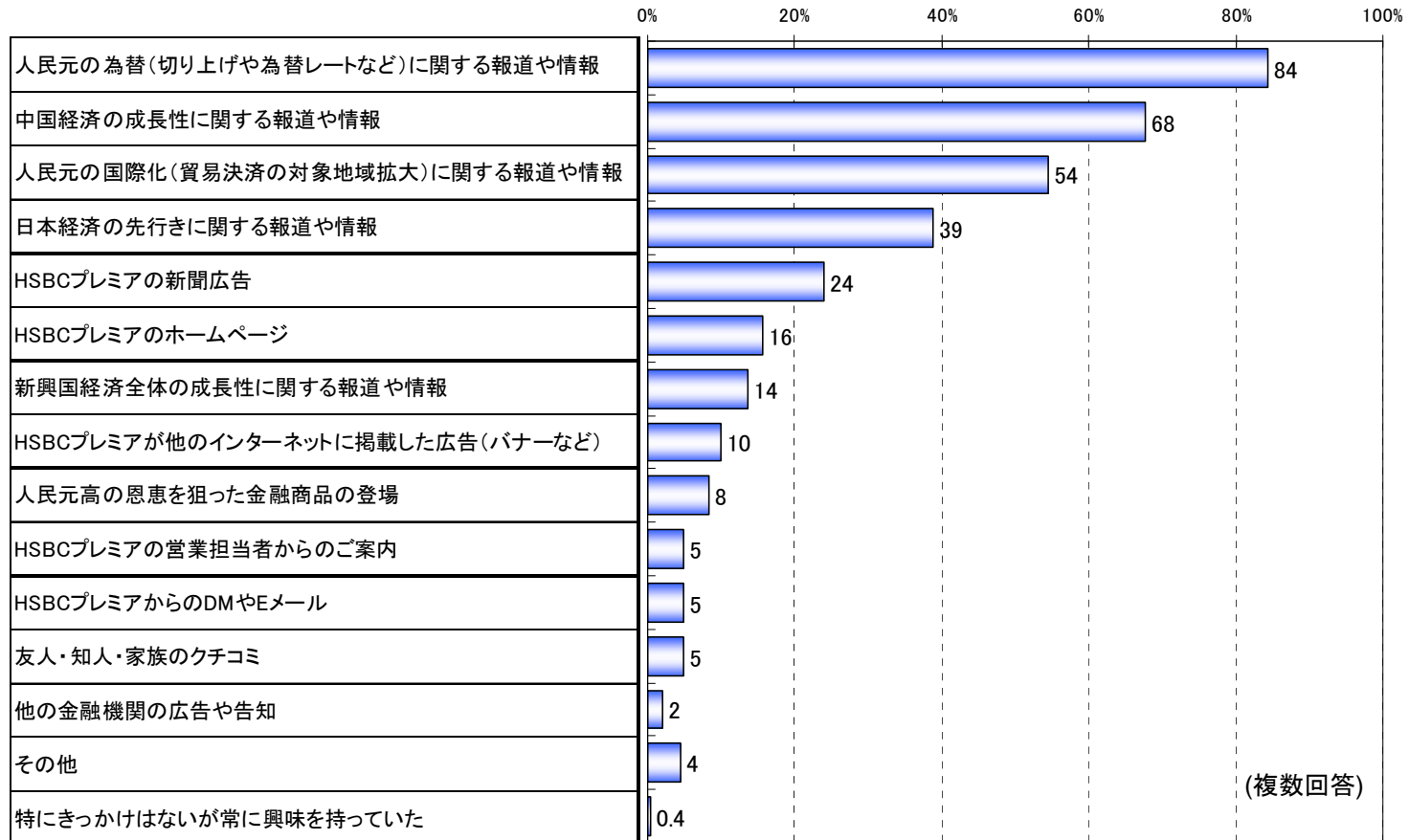
■アンケート概要:

- 調査実施期間: 2011年5月12日(木)～5月19日(木)
- 調査対象者: 日本のHSBCプレミア*で人民元預金を保有されているお客様から無作為抽出
(*HSBCプレミアは金融資産1,000万円以上のお客様のための銀行サービスです)
- 有効回答数: 250名
- 調査実施方法: インターネットアンケート調査

通貨としての人民元に興味を持ったきっかけ

➤「為替に関する報道」や「中国経済に関する報道」などを主なきっかけに、人民元への興味が醸成されている。「日本経済の先行きに関する報道」も4割の方が挙げる。

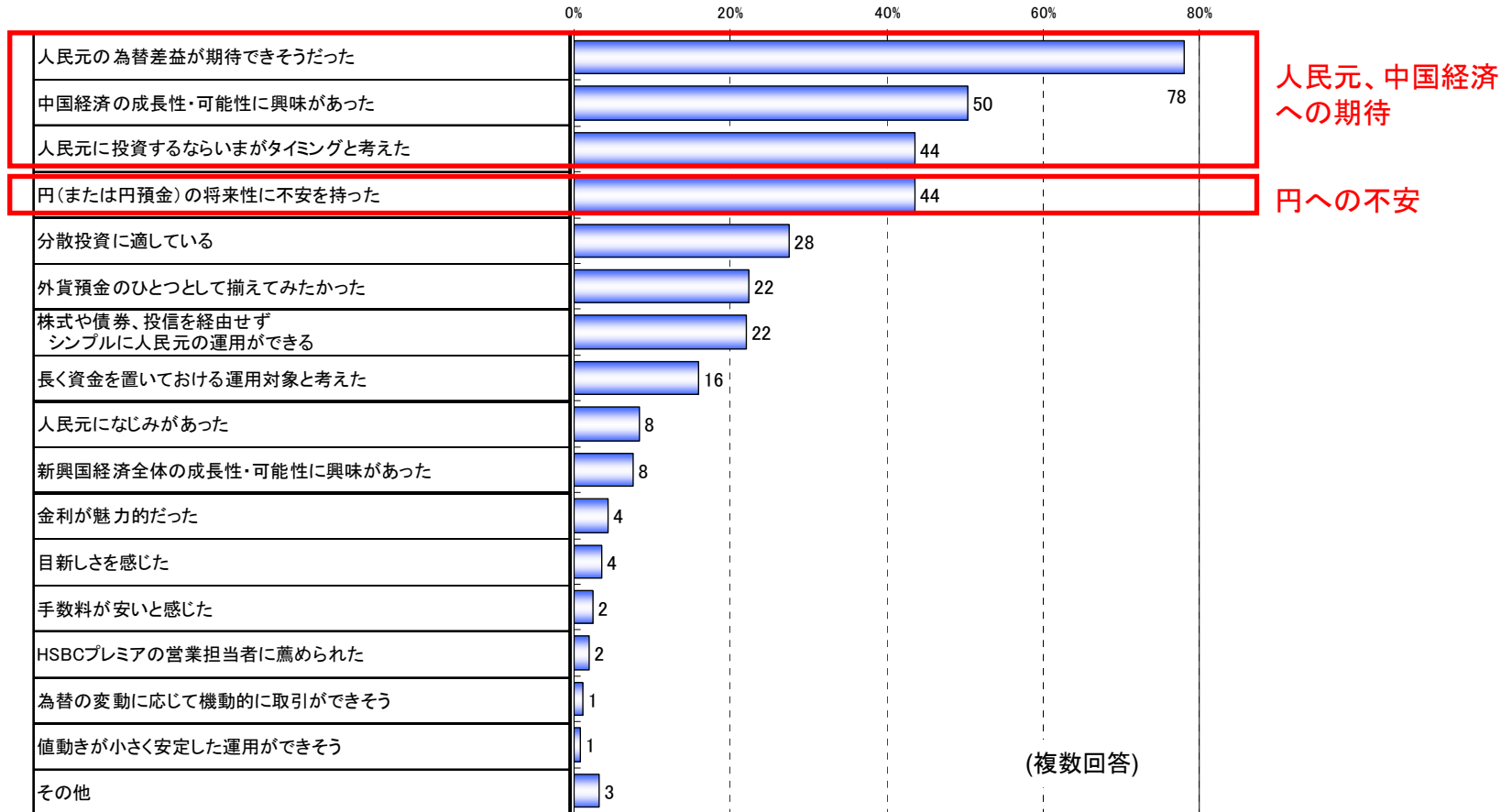
Q. そもそも「人民元」という通貨そのものに興味を持ったきっかけについて、あてはまるものをすべてお選びください。
(n=250 人民元預金保有者)



人民元預金を始めた理由

▶「人民元の為替差益」を理由に挙げる方が8割にのぼり、人民元、中国経済への期待が動機となっている。一方で、「円の将来性に不安」も44%の方から挙げられている。

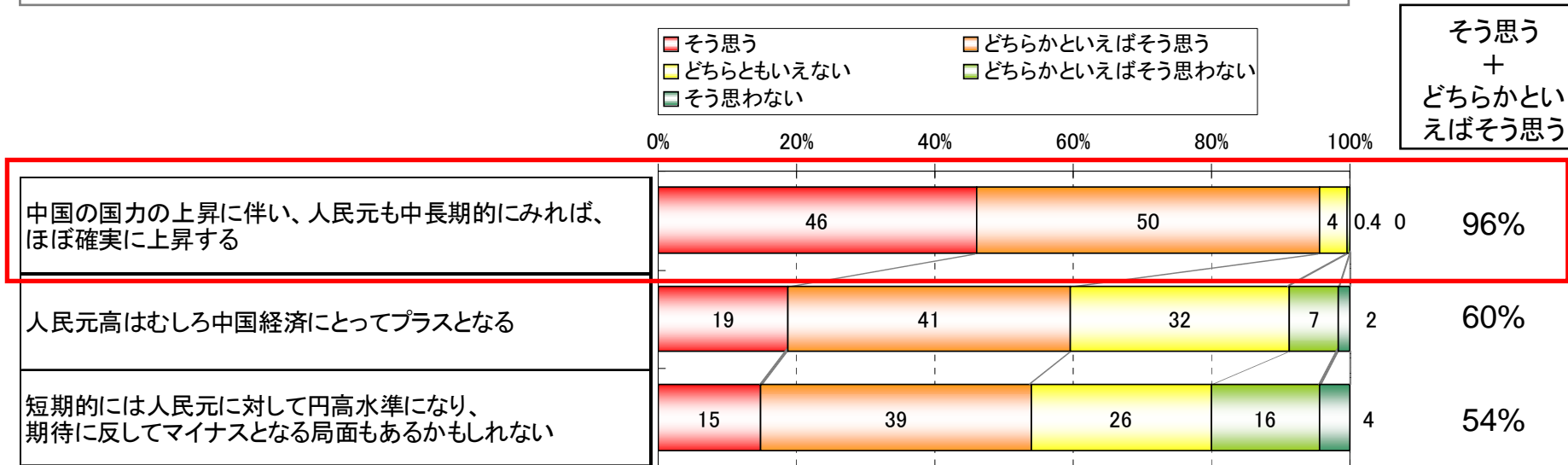
Q. どのような理由で、HSBCプレミアの人民元預金を始められましたか。
(n=250 人民元預金保有者)



中国経済・人民元の将来をどう見ているか

➤ 中国経済、人民元に対する中長期的な見方は非常にポジティブ。人民元の上昇を見込む方は「**そう思う**」「**どちらかとそう思う**」を合わせると**96%**にのぼる。

Q. 中国経済や人民元について、以下のような見方があった場合、どの程度そのように思われますか。(n=250 人民元預金保有者)



(単数回答)

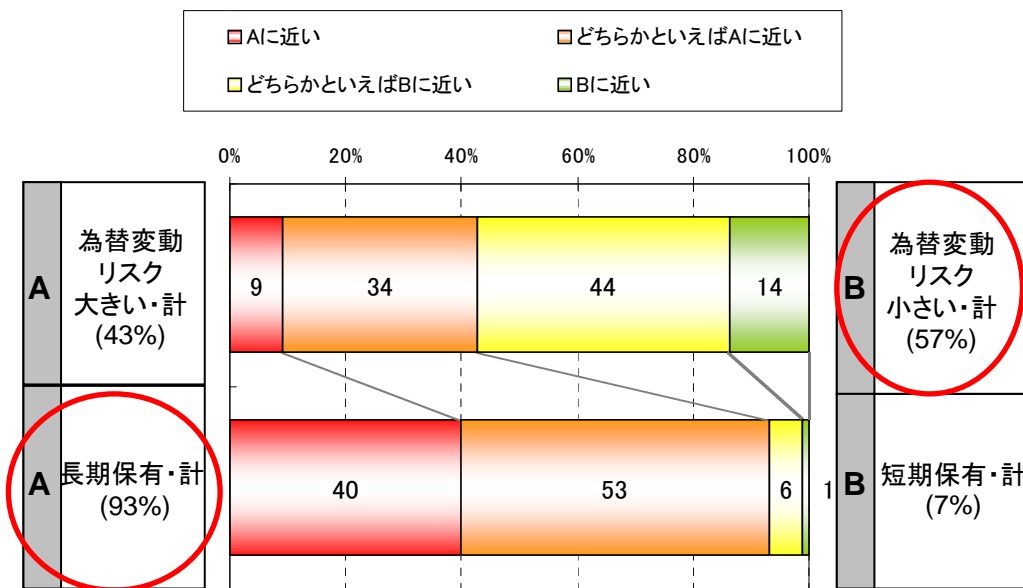
(注) 端数調整により合計が100%にならない場合がある。

人民元の為替変動リスクや運用期間はどう認識されているか

➤ 為替変動リスクは「小さい」という回答が6割で、「大きい」(4割)を上回る。また「長期保有」を想定する方は9割以上。具体的な想定運用期間では3年以上が半数以上を占める。

【為替変動リスクの大⇔小／長期保有⇔短期保有】

Q. 資産運用先としての人民元預金について、どのようなとらえ方をされていますか。(n=250 人民元預金保有者)

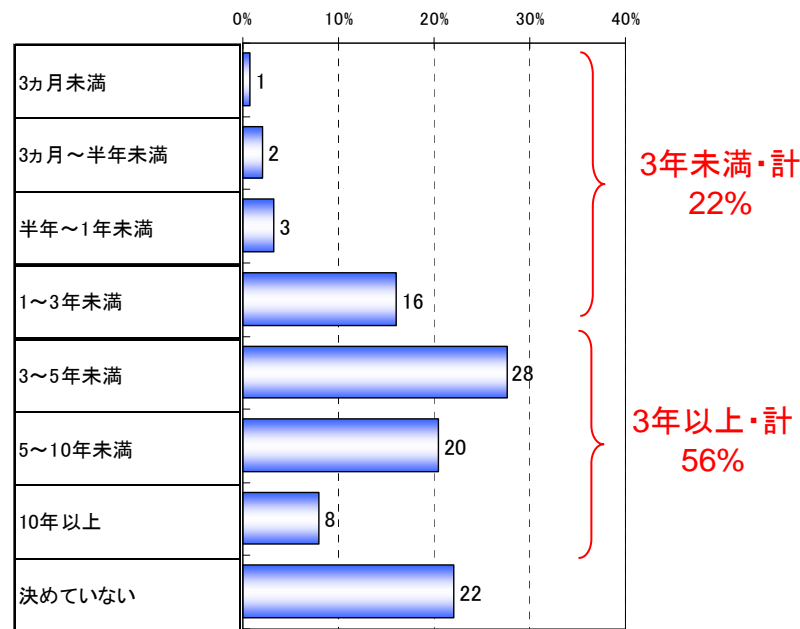


(単数回答)

(注) 端数調整により合計が100%にならない場合がある。

【想定運用期間】

Q. HSBCプレミアの人民元預金についてどれくらいの運用期間を想定していらっしゃいますか。(n=250 人民元預金保有者)



(単数回答)

(注) 端数調整により合計が100%にならない場合がある。

参考) 人民元の為替変動リスクや運用期間はどうか認識されているか

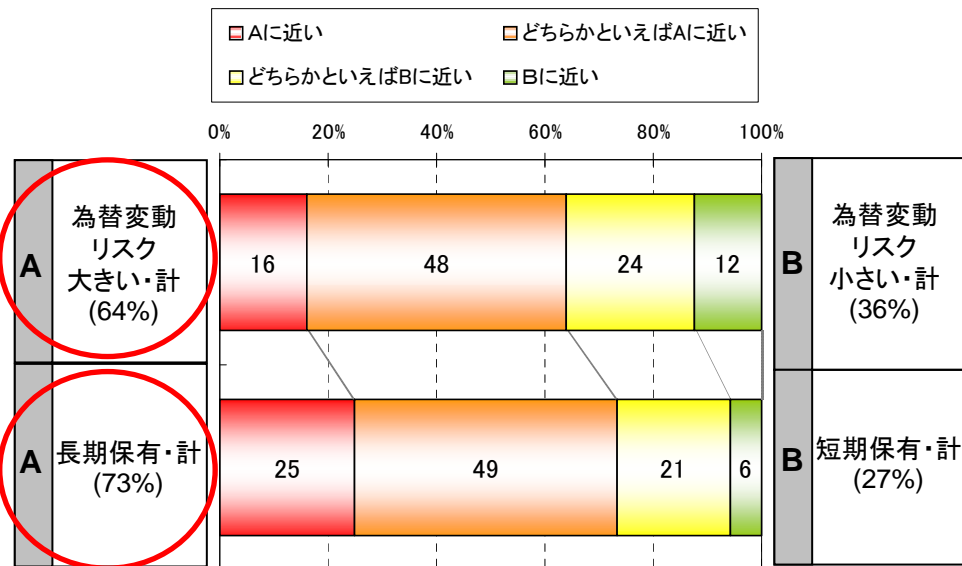
(口座はあるがまだ預金を始めていない方)

➤「為替変動リスク大きい」とする回答が6割にのぼる。想定運用期間も「3年未満」が半数を占め、既に始めている方との違いが鮮明(P8参照)。

※ 為替変動リスクを大きめに、運用期間を短めに想定する方が多い。

【為替変動リスクの大⇔小 / 長期保有⇔短期保有】

Q. 資産運用先としての人民元預金について、どのような印象をお持ちですか。
(n=105 人民元口座は保有しているが残高を持っていない方)

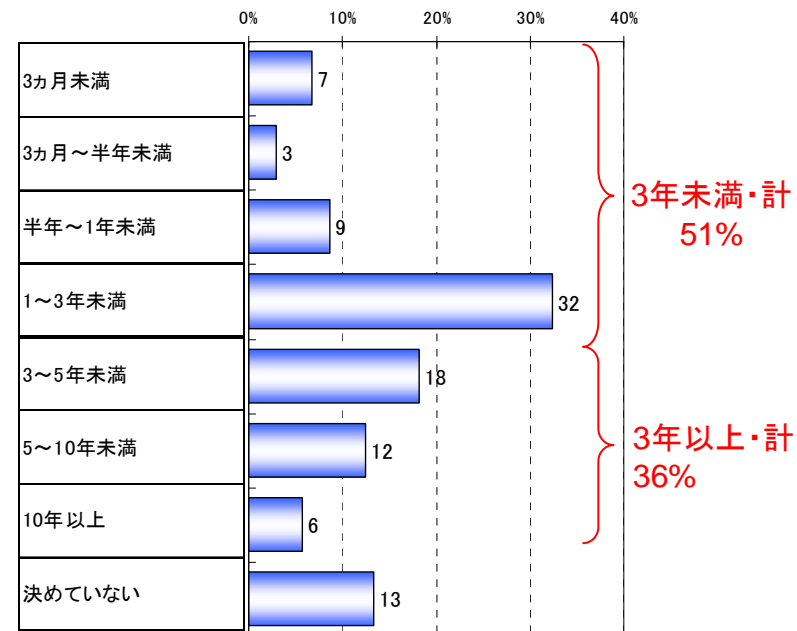


(単数回答)

(注) 端数調整により合計が100%にならない場合がある。

【想定運用期間】

Q. HSBCプレミアの人民元預金の預け入れを検討する場合、どれくらいの運用期間を想定されますか。
(n=105 人民元口座は保有しているが残高を持っていない方)



(単数回答)

(注) 端数調整により合計が100%にならない場合がある。

3年未満・計
51%

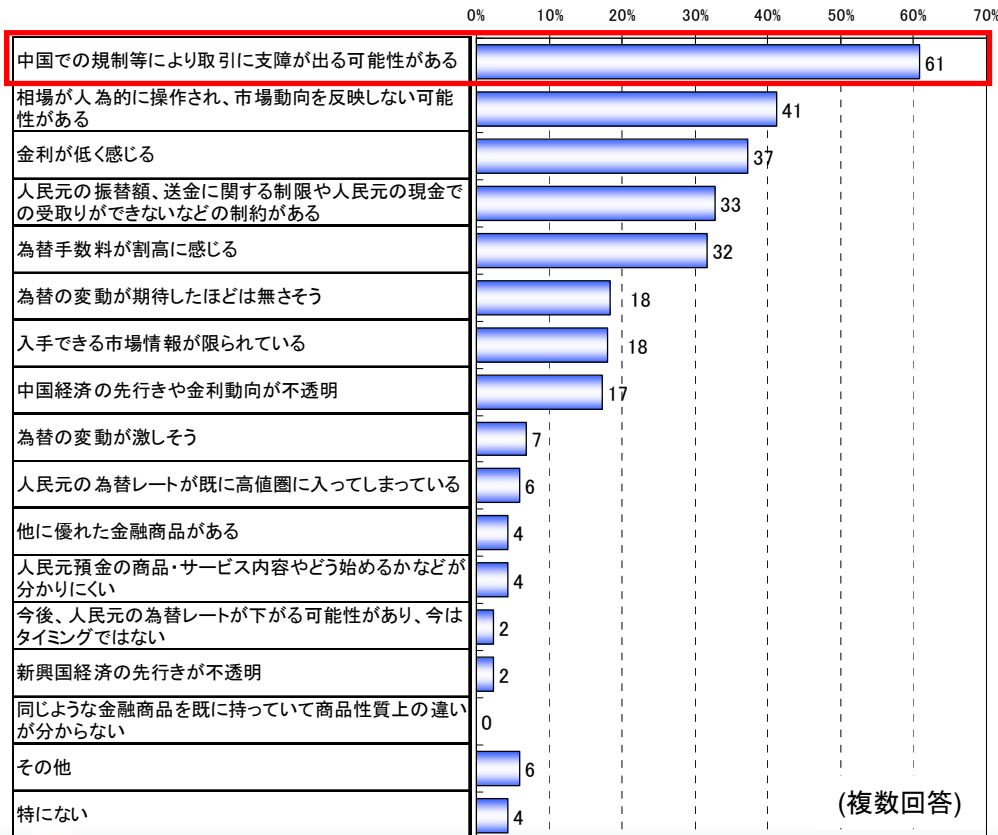
3年以上・計
36%

人民元預金を始めるにあたっての懸念点(リスク意識)

➤ 人民元預金を始める際、最も多くの方が懸念したのは「規制」に関するリスク。懸念にも関わらず人民元預金を始めたのは、「魅力の方が大きかった」から。

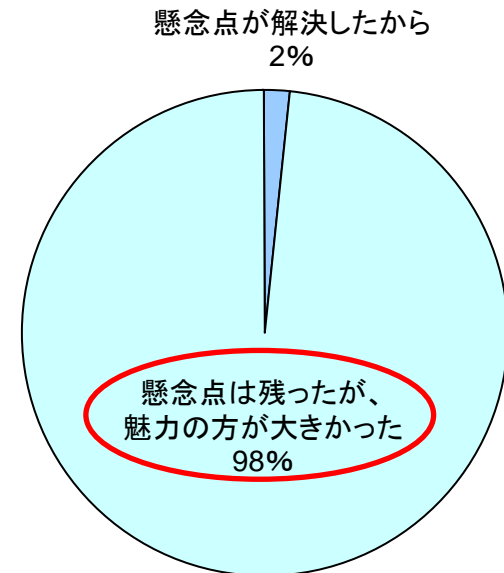
【人民元預金を始める際に意識した懸念点】

Q. HSBCプレミアの人民元預金を始めるにあたり、ご懸念点や気になった事柄として、あてはまるものがあればすべてお選びください。
(n=250 人民元預金保有者)



【懸念にも関わらず人民元預金を始めた理由】

Q. 懸念点があったにも関わらず人民元預金を始めたのはどのような理由によるものでしょうか。
(n=239 人民元預金を始める際に懸念があった方)

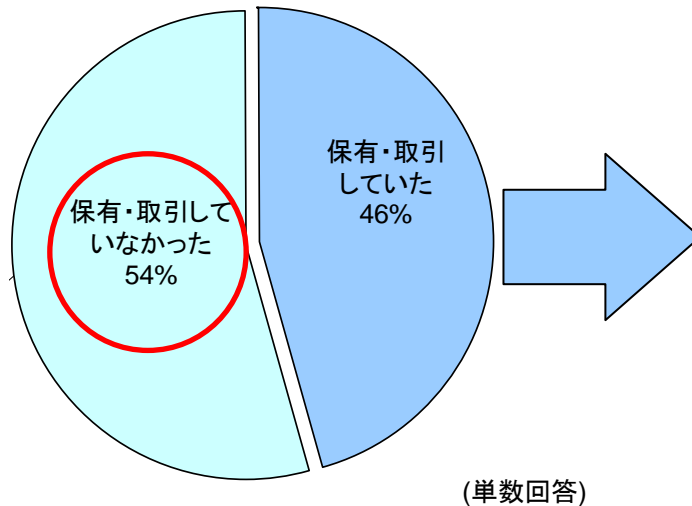


人民元預金は中国関連金融商品の入り口か

➤ 人民元預金保有者の半数以上にとって、人民元預金が初めての中国関連金融商品となっている。

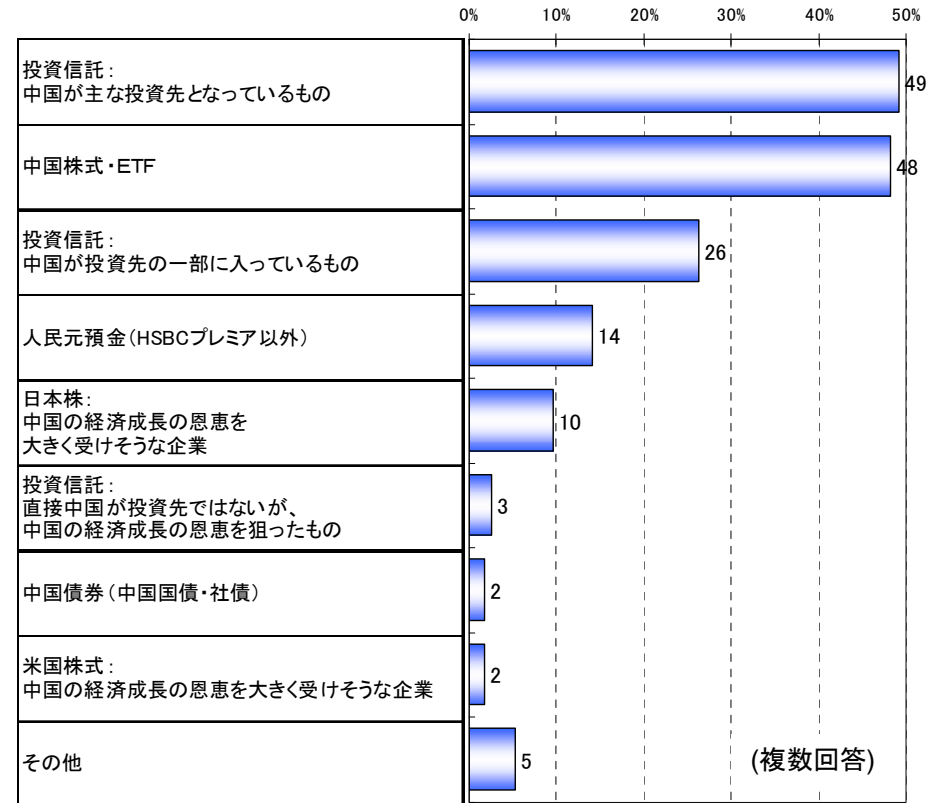
【中国関連金融商品保有経験の有無】

Q. HSBCプレミアの人民元預金口座を開設する前に中国または中国経済と関連のある金融商品を保有、または取引していらっしゃいましたか。(n=250 人民元預金保有者)



【保有・取引した中国関連金融商品】

Q. 保有、または取引していたのはどのような商品でしたか。あてはまるものをすべてお選びください。(n=114 取引経験ある方)

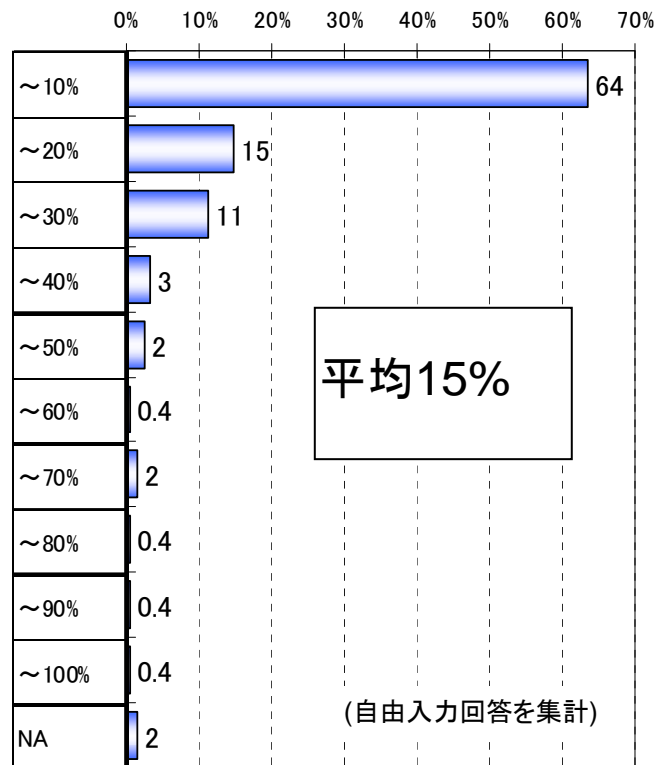


全金融資産に占める人民元預金の割合と今後の残高増意向

➤ 人民元預金の残高は、全金融資産のうち平均15%。また、今後さらに残高を増やしたいという意向は約5割にのぼり、他商品と比べても際立って高い。

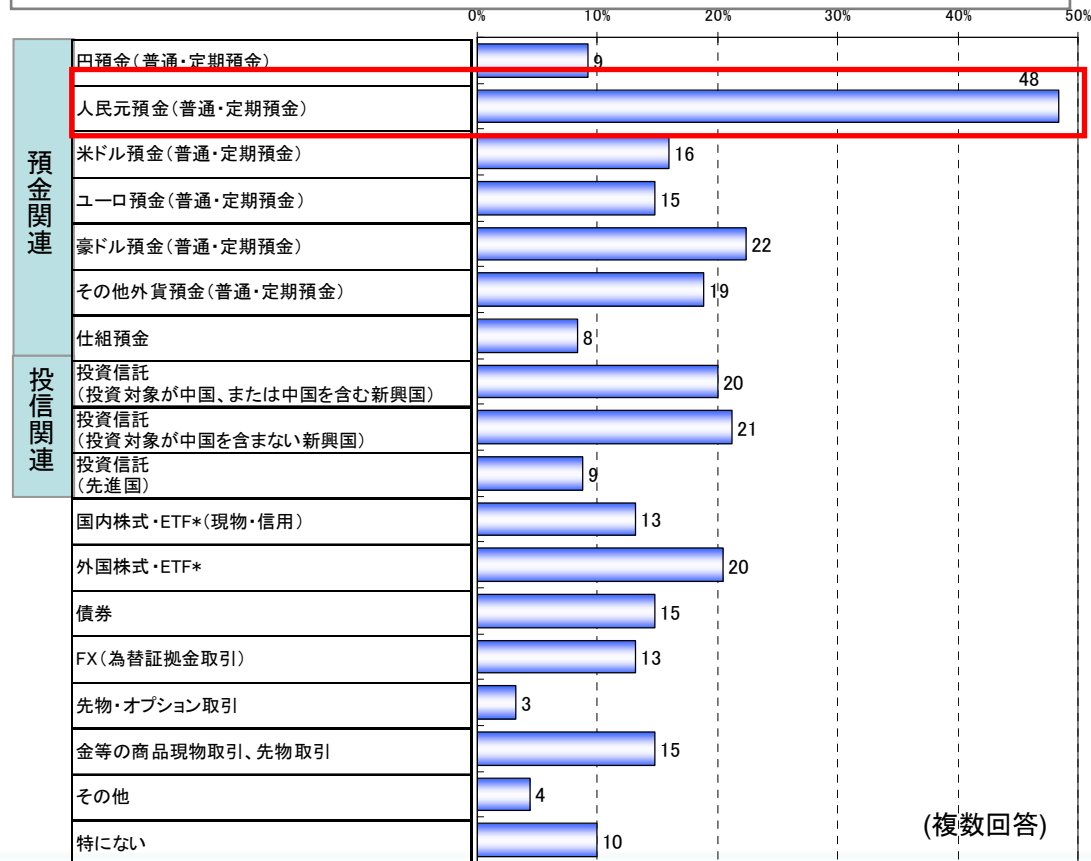
【全金融資産に占める人民元預金の比率】

Q. HSBCプレミアの人民元預金は金融資産全体の中でどれくらいの割合になりますか。
(n=250 人民元預金保有者)



【今後の残高増意向】

Q. 今後、残高や取引量を増やしたい、または新たに取引したい金融商品としてあてはまるものをすべてお選びください。(n=250 人民元預金保有者)



まとめ

- ① 人民元預金を始めた理由として多くの方が挙げるのは、“為替差益への期待”と“中国経済への成長期待”。同時に“日本円の将来性に対する不安”も半数近くの方から挙げられている。
- ② 人民元高への見通しは非常にポジティブ。中長期的な上昇について“そう思う”または“ややそう思う”とする方は合計で96%にのぼる。
- ③ 人民元預金の保有残高は平均すると全金融資産のうち15%を占める。また、約5割の方が今後“残高を増やしたい”としている。
- ④ 人民元預金については、為替変動リスクよりも規制に対するリスクがより意識されている。リスクは認識しつつ、それを超える期待感から中長期（3年以上）を想定して運用を行っている。

※本資料は、お客様への勧誘を目的として作成したものではありません。また、記載内容は全てアンケートの結果に関するものであり、HSBCプレミアの意見や予測ではありません。

※調査データの引用等については、必ず出典を明記してください。出典名：「HSBCプレミア人民元預金利用者意識調査(2011年5月)」